

宮崎県ＪＦ共済推進本部 本部会長 矢部 廣一

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃よりＪＦ共済事業へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。新春を迎えるにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、昨年は空気の乾燥と強風により2月に岩手県大船渡市の山火事、11月には大分県佐賀関の大規模火災と火災が多く、一方で線状降水帯による大雨や、依然各地で多発する小中規模地震の被害も多い年でした。火災や自然災害により被害に遭われた漁業関係者および地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

幸い宮崎県におきましては、昨年は大きな自然災害に遭うこともなく大きな事故もありませんでした。また南郷漁協所属のかつお船「竜喜丸」が漁獲量3連覇達成という偉業を成し遂げられましたことは同じ漁業者として誇りに思います。

しかしながら昨年は四季が感じられないほどの猛暑が続き、海水温の上昇からくる漁獲種類の変化や、依然不安定な世界情勢による物価の高騰、めまぐるしく変化する社会・経済情勢によりＪＦ共済の事業基盤であります漁業・漁村を取り巻く環境は以前にも増して厳しい状況になりますことは皆様ご承知のとおりです。

このような中、ＪＦ共済では、3か年計画「浜の笑顔を共済とともに～JF共済3か年計画」の最終年度として、課題である「保有契約量の減少傾向に歯止めをかけるための取組み」を着実に実践し、JF共済事業の健全性・信頼性の強化に取り組んでいるところでございます。特に、身近にある漁協が地域の皆様へあんしんを提供出来るようにと、「浜のあんしんサポート運動」の展開に注力してまいります。

推進本部といたしましては、3か年計画における「生命・建物の保障を組合員・世帯構成員・地域住民に幅広く提供し、JF共済の輪の拡大を図って行く。」ことに重点的に取組み、JF組合員等1人ひとりに満足・納得のいく保障を提供できるよう、漁協役職員はもとより、女性部・青壮年部等のご協力を賜り、各共済種目の目標達成に向けて積極的な普及推進活動を展開しているところでございます。

私たちJF共済は、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民の「暮らしの保障」に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある地域づくりに貢献



してまいる所存でございますので、どうか本年も、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と操業の安全及び大漁をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。